

2023年度 GIGA スクール時代の学校図書館についての調査

※アンケートに協力してくださった委員会及び司書の皆様ありがとうございました。

■県内の学校での電子図書の利用についての調査

「石川・学校図書館を考える会」では、学校での電子図書に関して、教育委員会へのアンケート・新聞掲載記事の確認・学校司書への電話取材等を行い以下のことがわかった。

- ・公立図書館の電子図書を利用できるところは多いが、学校専用の電子図書を導入しているのは今年6月の時点で2022年度から羽咋市と宝達志水町、2023年度から金沢市と内灘町の4自治体である。
- ・金沢市以外の3自治体ではSchool e-Library が導入されている。金沢市は不明
- ・導入のメリットについては“読書量の増加”と“授業での利用”が同程度期待されている。
- ・今年度の紙媒体の図書購入費については県内のほとんどの自治体が“変化なし”と回答されていたが、減っているところもいくつかあった。

■「一人一台端末導入後の学校図書館の変化に関するアンケート」

「石川・学校図書館を考える会」では県内の学校司書に標記のアンケートをお願いした。

13の自治体の司書から98件の回答があった。(内訳は小学校67 中学校30 高等学校1) 回答は個人の考えで、また、兼任している場合はそれぞれの学校について回答可能とした。

質問と回答は以下の通り

- ①「貸出冊数について」 減った 28件 変わらない 54件 増えた 11件
- ②「図書を使った授業」 減った 68件 変わらない 25件 増えた 1件
- ③GIGAをいかした活動でおすすめがありましたら教えてください →全回答は下の通り
- ④困っている点や工夫している点があれば教えてください →全回答は右頁(一部省略有)

■司書の方々よりいただいた2つのアンケート調査自由記述

| |
|---|
| GIGAを生かした活動でおすすめがありましたら教えてください。 |
| わからない言葉、単語があればまずは百科事典で調べ、さらに詳しく知りたいときは、その単語、言葉を探っていく。信用できるサイトかどうか心配はある。 |
| 最新の情報が手に入るの、調べ学習には大変便利だと感じています。 |
| 読み聞かせを大型モニターを使って行い後ろの児童も見やすくなった。 |
| タブレットで本の表紙の写真を撮り、その本の中身に関連するクイズを作ったものを印刷し図書室に掲示したり、「すがたをかえる食べもの」の授業で、タブレットを利用して本の必要部分を撮影し発表するなど。 |
| 委員会活動でクイズを作ったりする際に、図書委員がデータで作成して、提出させることができる。 |
| これと似た資料をタブレットに取り込み、その情報を、ほかの人とタブレット上で共有したり比較したり参考にしたりするのに使っているようです。 |
| ・学期はじめのオリエンテーションや利用指導の資料をgoogle スライドシートで作成し、図書室に連んだ大型テレビにchromecastを使ってキャストして指導をすすめました。作成した資料は校内、学校司書間で紙媒体にしなくても共有・再活用が可能です。googleフォームを使った調べ学習の記録ができないか考え中。資料の作成や共有がぐっと楽になりました。 |
| ・先生方を対象にしたGoogle Classroomを立ち上げ、資料共有と感染症等流行時の図書・教室間の遠隔授業に対応しました。 |
| 学級文庫で読んだ本をグーグルクロームのクラスルームにある表で児童がチェックできるようにして、学級文庫の入替えに役立っている。 |
| 学級文庫の本を読んだかどうかのチェック表がグーグルクロームのクラスルームの中にある。 |
| 今年の図書オリエンテーションでは、加賀市のデジタル図書館の使い方の復習をして、朝読書の時にも利用できるように指導した。 |
| 図書委員会で図書に関するアンケートを行った。 |
| ブックトークや、百科事典の利用指導でスライドを活用。 委員会活動で利用。 |
| 読書記録をGIGAでする。 おたより等の配布 |
| 委員会活動でおすすめの本の紹介や読み聞かせ、イベントの告知などに使用した。 |
| 春の図書オリエンテーションや奥付指導などの利用指導を図書室から複数学級へ一斉ライブ配信するようになりました。 |
| クラブ活動(読書クラブ)で読んだ本の記録や感想をタブレットを使用して提出してもらっています。各自が提出したカードはそのまま図書室の壁面に掲示できます。 |
| windows teams やzoomを使った読み聞かせ、ブックトークなどを行って見たが、全校に画面で絵本や本の表紙を見せられるのでよかった。 |
| オリエンテーションで、紙での利用案内を配らず、パワーポイントをキャストでテレビに映しながらしています。 |
| 委員会活動で、児童が全校にアンケートをとる際、フォームを活用すると集計がラクでよい。 |
| 動画での読み聞かせ、家庭読書で使う |
| 図書便りの中で特におすすめの本をクラスルームで紹介(デジタル図書便りのような物) |
| 小学校も兼務なのでクラスルームを活用して読み聞かせをおこなっています。 |
| 調べ学習の冊数調査を図書室だけに課すのではなく、調べ学習時には紙の本も同時併用してもらえるように学校や先生方も周知してほしいです。 |
| 勉強不足で教えていただきたいです。 |
| ・図書委員会のおすすめの本の一部をスキャンし、朝読書の時間に端末を使って読む |
| ・googleサイトで新着図書や図書室のイベント情報を配信 |
| ・フォームを使用し、おすすめの本や図書室に入れてほしい本、読書のしかたについてアンケートをとる |
| 図書室classroomを作成し、生徒、教職員が参加できるようにしました。図書だけでなく、新着図書一覧、調べものの参考図書リスト、関連するネット情報へのリンク集等を共有できるようにしました。 |
| 全校一斉放送朝読書を行う際に紙媒体ではなく学習端末を見ながら行う。 |
| 月に1度、放送を使った全校読書(放送読書)を行っています。以前は生徒全員分のテキストを紙に印刷して配布していたのですが、今はデータ化したテキストを生徒のタブレットに配信して、それを読みながら放送を聞いてもらうという形で行っています。 |
| 職員図書の購入アンケートをgoogleフォームで取る。 |
| 生徒へのアンケート、図書委員会の企画 |
| 本と生徒用端末を併用した授業が増えてきました。複数の情報源を比較したり、クラス・学年のグループに司書も加わって、利用指導PPをアップしたり、おすすめのサイトを紹介したり、各クラスの提出レポートを確認したり…GIGAならではの司書の関わり方があるなと思っています。 |

| |
|---|
| 困っている点や工夫している点があれば教えてください。 |
| <p>最初からネットを頼りにしている。一人一台なので自由に検索はできるが、検索する言葉が定まらないうと、上手く答えを導くことができない。最初は事典を使ってある程度、単語、言葉を絞っていくと検索できるのではないかと思うが、時間がなくてそこまでのは出てこないのが実態ではある。</p> <p>タブレットに魅力を感じている児童が多く、図書室の本よりもタブレットを活用して知識を深めたり、調べ物をしている児童が多くなった。</p> <p>学校図書館にタブレットなどの機器がない。蔵書も含め、情報センター、学習センターとして機能するための環境が整っていない。兼任であるため、対応できないことが多々ある。</p> <p>紙媒体での調べ学習が少なくなった。</p> <p>タブレット端末に慣れさせるため、休み時間もタブレットの使用を許可しており、子どもたちがそれに夢中になり、図書館へ行くのが遠のき、結果、読書率がかなり低下した。工夫できる点が見当たらないので、是非教えて頂きたい。</p> <p>学校教育としてGIGAを推進していくことは定められた道なので、それに添って図書館教育をすすめていくために、「タブレットを持って図書館へ」を合言葉にコロナ明けの今年度はやっていきたいと先生方には伝えていきます。</p> <p>休み時間にGIGAの使用（タイピング練習等）を許可しているクラスの子もほとんど図書館に来ない（イベント期間中でも）ことに困っていました。今年はそのようなクラスはないのですが、今後またどうなるかわからないので、何か工夫があればお聞きしたいです。</p> <p>学担からも、児童からも聞き取りを丁寧にして、どんな資料がほしいのか外れないように努めていますが、急に来られると適切な資料提示ができないことも多く、一言あれば公立を利用してでも揃えられたのにも思うことはあります。学担とは、普段からできるだけ連絡を取るようにしています。</p> <p>・学校司書間の情報共有のためのクラウド(googleドライブ)を作っておくと資料共有が楽です・調べ学習の時に図書とウェブサイトとを並行して利用することで得られる情報が増えるのに、先生の中にはウェブサイトの情報で十分と考える方もいる「ハイブリッド調べ学習」を提案できるように、司書もスキルを上げなければならないと思う。</p> <p>5の学級文庫では、入力のしやすさや、入力の徹底といった面で改善の余地あります。</p> <p>デジタル図書館を利用すると、学校図書館の利用が減るのではないかと心配はある。</p> <p>司書が活用の仕方について学ぶ機会がほとんどないこと、そもそも活用できていない状況に困っている。</p> <p>一人一台端末になり、子どもがどんな調べ方をしているかわかりにくくなった。</p> <p>これまで、課題が終わったあとの時間などが隙間読書として使われていたのですが、タイピングスキルアップのためのアプリをしてもよい時間になり、読書のための時間が減ったことがあります。もちろん隙間時間は元々読書のための時間というわけでもなく、タイピングも大切なのでバランスだと思います。しかし子どもにとってはアプリはテレビゲームと同じ感覚でやっているところがあり、それができないと不満を漏らす子もいました。デジタルのスキルアップも大切ですが、他にも大切にしたいことはあります。GIGA端末をどのように子どもたちに使わせていくのか、うまく活用できる方法を知りたいです。</p> <p>学担と司書で、児童と図書、図書館の利用状況を共有できる機会を増やしたいです。</p> <p>調べ学習で、高学年は資料よりもタブレットを利用して実施することが増えたので、単元に沿った資料をあらかじめ準備して提供し、資料も活用して買うように提案している。</p> <p>調べる学習ではインターネットだけでなく図書館の活用もしてほしいが、授業時間の関係などから、すぐに調べられるインターネットで調べることが増えているように感じます。本で調べる良さを子どもたちや先生方にもどのように伝えていけば良いか悩んでいます。</p> <p>タブレット端末だけでなく学校図書館を効率的に利用してもらうため、調べ学習の際にはより多くの資料（パンフレットも含む）を用意しています。</p> <p>調べ学習について、クロムブックだけで課題を済ませてしまうのが残念です。（小中共に）</p> <p>司書がタブレットを持っていない、IDがないなどで使用できないため、授業支援などの手立てが分からない。</p> <p>高学年はある程度ネット検索を使いこなせるので、鮮度が重要な分野（環境問題など）の資料の購入は控えるようにして、逆にネット検索が難しい低学年向けの資料（虫の飼いかたなど）を充実させた。</p> <p>図書館にもタブレットがほしいです。</p> <p>司書に端末が支給されていないため、調べ学習の授業がどのようにされているか高学年になるほどわからない。</p> <p>先生に、ネットで調べるから本はいらないと言われることが増えた。</p> <p>その先生に直接アプローチしても聞く気がない人が多いので、子どもたちに対して伝えていく。それを聞いて、態度を変えてくれる先生もいる。</p> <p>例）ネットは便利だけど、真偽を確かめるのが大変。図書館の本は子ども向けにまとまっている。漢字ばかりでない。など。</p> <p>GIGA（Teams）をどれくらい使っているかによって、声かけできる範囲が変わってくる。</p> <p>調べ学習がGIGAメインになってしまっ、図書館に声もかからなくなることがある。</p> <p>出来れば、本で調べGIGAに移る方が先生にとっても子どもにとっても調べやすいと思うので、今後の声かけが大切になってくると思う。</p> <p>図書館司書はGIGA端末を持っていないので、活用しにくい。</p> <p>気になるのは、児童、先生を含め、著作権を理解しているかということ。</p> <p>現在、児童用デジタル図書館を準備中。同時に、職員版デジタル教材保管庫も作成中。</p> <p>図書室からのお知らせ（予約や延滞）を紙媒体ではなく、タブレットで個人で送ることを想定していましたが、毎日タブレットを使っていない学級もあり、一元化はまだ先なのかなと思っています。</p> <p>図書室にWi-Fi環境が無いことが難点。オクリンクを使った作業ができない。ネット環境を使わないWordやPowerPoint・写真撮影などは可能なので使い分けが必要。</p> <p>工夫している点で、インターネットで調べることもあるが不確実な点もあるので、本での調べ学習も勧めている。</p> <p>自分の力で「検索」できない。ツールとしては持っけていても何をさがしてもとめているのかわからない。</p> <p>まだ安定しておらず、学校の掲示板のような広場がなくなっていたり、QRコードの使い方を知らない、クロムブックのためWindowsとの使い方の違いで戸惑うなど、安定して使えていません。図書館イベントや新しい本の告知を今後はしたいと思っています。</p> <p>感染症が流行しているときの図書委員会の取り組みとして、お休み中でも、図書館に来なくても参加できる図書館クイズをしました。タブレットにクイズを上げ、参加してもらったものです。</p> <p>ちょっとした実験や、植物などを本と一緒に展示して、体験コーナーみたいなものを作っています。ネットで見た情報を現物で確かめたり、現物を見て本やネットで調べたりするきっかけになればいいと思っています。</p> <p>また、並行読書だけでなく、授業に関連した本を館内で展示すると借りていってくれます。</p> <p>特にないです。</p> <p>クラスルームに新刊紹介やお便りをのせても、見ていない生徒が多いので、今年度より従来通り、紙媒体でお便りを生徒に配布した。まだ2回しか配布していないが反応は良いようだ。</p> <p>司書専用の端末があたっていない学校が多い</p> <p>中学3年生が朝読書の時間がなくなり、図書貸出数が大変少なくなりました。今まではよく借りていた生徒も借りなくなり、どのようにしたらよいかと考えています。</p> <p>教育委員会貸出し冊数調査や調べ学習の冊数調査で極端に冊数が減ってはいけないうと、授業の単元を教科の先生に訪ねて、内容ごとに学年に本の展示をしたりしていますが、先生も生徒の使用は見られず、ただ疲弊します。</p> <p>学校図書館にタブレットなどの機器がない。自治体、学校でも情報センター、学習センター機能の充実についての意識が低いと感じています。</p> <p>図書館の授業利用が少なくなり、資料は教室へブックトラックに配架して貸し出してしまっています。こういう状態が昨年あり、ぜひアクセスポイントを早くつけてほしいと要望したところ、早々つけてもらえました。授業もその後クロムブックと併用して、図書館利用が増えました。</p> <p>・スキャンしたデータを配信する際、データが重く開きづらいときがある</p> <p>・調べ学習の際、図書を意図するが、ネットの情報で完結してしまう生徒も多い</p> <p>生徒指導上の課題で、授業中等に私的な利用が多く、休み時間は自由に利用できないことになっています。生徒に向けて各種リストや、おたよりを共有しても、閲覧する時間がないというのが困った点です。また、市としてのネット閲覧の制限がかなり、リンク集が役に立たないのも困っています。</p> <p>4月に小学校から中学校へ異動したばかりで、まだ調べ学習で図書館資料を使われたことはなく、困り感はないのですが…。ただタブレットで事が足りる印象が拭えません。自分自身開拓すべきとも思いますが、今年度は様子を見ている状況です。</p> <p>司書のタブレットがないので活動ができていない</p> <p>調べ学習用の資料はどうしてもインターネットの方が情報が新しいが、本の方が言葉は精選されているので、できるだけ両方を活用した学習を行えるように図書館では資料を用意していきたいと思っています。</p> <p>最新情報はどうしても学習端末に頼らざるを得ないので、調べ学習などは図書の利用が減っている。これからの図書購入の時には調べ学習の本をどこまで購入すればいいかわからない。</p> <p>本を使った調べ学習が減りました。また、依頼があって本を集めて提供しても、結局使われなかったり、使ってもわずかだったり、どうしてもタブレットへと傾いてしまっています。本とタブレットの上手な併用のしかたを知りたいです。</p> <p>図書館としての工夫もこれからです。</p> <p>調べたことをPPTで発表する場合など、参考・引用した出典を生徒が正しく書かないことがある。GIGA端末を使用した場合、参考文献のリストをエクセルで作ったが、URLが文字になる場合があったり、張り付けしにくい場合がある。GIGA端末とPCの違いもあり、生徒に教えてもらうこともある。</p> <p>図書委員会など、いろいろな場面で活用していければと思いますが、学校の体制として、まだまだ自由に生徒が端末を活用できているとは言えず、試すことができていないと感じます。昨年度は、1月1回の司書部会で、ICTサポーターさんに講師をお願いして、GIGA端末活用法の講習を受けたり、司書同士で情報交換し合ったりと、市の学校司書みんでは学び合い、少しずつ前進していています。</p> <p>今年度、異動したばかりなので前年度までの比較は出来ませんでした。</p> <p>昨年度までの年間貸出し冊数を見ると、年度ごと的大幅な増減はないように感じます。</p> <p>学習時にタブレットでの学習が増えています。その授業に必要なものがある程度ピックアップしているため、答えが似たようなものばかりになることが多いと先生方から紙媒体での資料も準備して欲しいと依頼がありましたが、活用する児童は少ないとおっしゃっていました。</p> |